

令和元年度山口県産業労働懇話会の概要について

1 開催日時

令和元年10月23日（水）13：30～15：00

2 開催場所

県庁共用第5会議室

3 出席者

労働者代表 山本委員、藤田委員、倉重委員、田中委員、石田委員

使用者代表 畑 委員、西田委員、橋本委員

学識経験者 宮地委員、川村委員、松永委員、原口委員

（以上15名中12名出席）

4 議事

「高年齢者の就労促進」を論点として質疑応答及び意見交換を行った。

《主な意見等》

- ・高齢者にはできるだけ長く勤めて欲しいが、年金と収入とのバランスが難しい。
人手不足を解消するため、一度退職した方や女性が働きやすい職場づくりが今後の課題である。
- ・今後国が定める年金制度について注視したい。
- ・人手不足の中、高齢者雇用はとても重要であるが、事故防止を考慮しながら慎重に個々に合った業務内容を考えるのが難しい。
- ・国の制度を含めて高齢者が元気に働ける仕組みを作っていきたい。
高齢者労働について、私たちが理解するべきで、寛容な社会づくりが必要。
- ・安全対策として、ユニバーサルデザインが必要である。設備対策に対して、県からの助成金をお願いしたい。
- ・働くことを希望している高齢者に対して、職場環境や健康管理等安全面のケアが必要である。
- ・現役のうちに働き方を変えておかなければ65歳まで働くことは難しい。
- ・60歳まで働くことが難しい現実もある。若い時からのワーク・ライフ・バランスが求められている。
- ・高齢者の就労を促進する結果、若年層の就労が阻害されているという統計結果も出ているので、高齢者のみならず、他の世代の就労促進も併せて行って欲しい。
- ・高齢者のみならず、女性や障害者も同様に働き方改革が必要である。
- ・高齢者の安全面、事故防止の解決策が見つからず、難しい問題になっている。
みんなに関心を持って考えてもらえるよう現状を周知したい。